

看板猫のサビちゃん!



岡豊出張所管内より

ベトナムのかき氷「チェー」も人気です

歩屋では20周年の記念イベントを開催予定! お店の情報やイベント詳細はこちらをcheck!!

「料理はアートの世界と似ている部分がある」と歩美さん。学生時代から芸術の世界に親しんできた歩美さんならではの感性や想い、こだわりを料理というカタチで表現しています。



Instagram

アジア各国の料理が味わえます♪

たかはし あゆみ
高橋 歩美さん(52)

12月でオープン20周年を迎える『アジア食堂歩屋』。和食やアジア各国の料理が楽しめる飲食店で、店主の高橋歩美さんとご家族を中心に、営業をしています。

看板メニューの『アジアンランチ』はプチアジア旅行がテーマ。一皿でタイやベトナムなど数カ国の料理が味わえるのが魅力です★自身アジアを旅して感じたおいしさや魅力を知ってもらおうと、自分流にアレンジした料理を提供。「料理を食べた方がアジアを旅行した気分になってくれたらうれしい」と笑顔で話します。

人との繋がりや縁を大切にしています

たにわき ちえ
飼い主：谷脇 智恵さん
ペット：ランちゃん(2歳)

ぬいぐるみのようなくるくるヘアが愛らしいトイプードルのランちゃん。訪れたペットショップで“わたしにして”と言わんばかりにゲージ越しにアピールしていたことが決め手となり、生後2カ月で谷脇家にやってきました。

警戒心が強い一面もありますが、友好的で慣れた人には全力で甘えるランちゃん。普段は室内で過ごしており、お気に入りの人形やボールで遊んでいます。甘えん坊なランちゃん

十市出張所管内より



にとって、智恵さんのひざの上は思う存分甘えられる特等席です♡「ランちゃんに家族全員が癒されています」と智恵さん。初めて迎え入れた愛犬に愛情を注いでいます。今後、2匹目を迎え入れることも考えているそうで、ランちゃんに心許せる相棒ができる日が来るかもしれません♪

土長 地区から こんにちは

本山出張所管内より



『第15回 土佐の食1グランプリ』で3位を受賞★ぜひ、ご賞味ください!



夢に向かって取り組んでいます!

おおしま あみ
大島 安美さん(39)

乳牛を牧草地で飼育する山地酪農に憧れ、4年半前に大阪から本山町に移住された大島安美さん。移住後はさまざまな面を考慮し、土佐あかうしの仔牛を生産して肉牛に育てる繁殖・肥育一貫農家として尽力しています。

“自分が育てた牛を最後まで見届けたい”という思いから事業パートナーたちと一緒に商品開発に取り組み土佐あかうしを使用したハンバー

ガー🍔を考案。今年の10月頃には嶺北高校前に店舗を構える予定で、地域に愛される店を目指して土佐あかうしの魅力を県内外の方に発信していきます。

「将来的には自分の放牧場内に牛舎を建てるのが目標。ゆくゆくは自分たちでさらに山を切り開き、そこで牛を放牧させたい」と夢に向かって歩みを進めます。

地域で愛される農家を目指して

なかひら たくみ
中平 拓海さん(32)

4反ほどの農地でトマトやキュウリ、ピーマンなどを栽培している神奈川県出身の拓海さん。将来を模索する中、合同会社ワタナベファームの渡辺さんとの出会いを機に“標高差を生かして野菜を作りたい”と思いが膨らみ、大豊町で農業の道を歩み始めました。

年間30種類の野菜を育てており、手塩にかけて育てた野菜が収穫を迎えた時や、お客さんの『おいしかった』の一言が支えになっています。「天候による影響など苦勞もあるけど、それ以上に楽しいことのほうが多い」と笑顔で話します。

「地域で愛される農家として、楽しく農業をしていきたい」と拓海さん。循環型農業を目指し、自身で育てた野菜で農家レストランを始めるという夢に向かってひたむきに取り組んでいます。

おとよ支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



南国そだちを収穫する都築さん

1 南国市地域 品質上々！ 『南国そだち』収穫開始！

早場米の産地であるJA高知県土長地区の南国市管内で極早生品種「南国そだち」の収穫が7月中旬から始まりました。同種は全国の米の中でも収穫時期が早く、程よい甘さとさっぱりとした食味が特徴。県内で最も早く出回る品種です。

同市上野田地区の水稲農家、都築康夫さんは昨年より1日早い17日から収穫を始めました。今年も田植え後の気温が高く、晴天が続いたことから例年に比べ1週間ほど早く出穂を確認。そのため品質や収量の低下が懸念されましたが、例年並みに仕上がったそうです。都築さんは「南国そだち」3ヘクタールの他、「よさ恋美人」や「コシヒカリ」を計10ヘクタールで栽培しており、初日は約80アールを収穫しました。

管内の5カ所の検査場では、19日から令和6年度産米の集荷と検査が始まりました。検査はJAの農産物検査員が品質や整粒、被害粒の品位を鑑定し等級を決定。検査は8月下旬まで続き、管内全体で約1800tの集荷を見込んでいます。9月末からは中生米の集荷が始まります。



出荷に向けて作業を行う上田さん

2 れいほく地域 高知のユリ「みもり」 3万5千本の出荷見込む

冷涼な気候を生かした夏秋出荷主体の産地として知られる高知県れいほく地域で栽培されているユリ「みもり」が最盛期を迎えています。土佐町でみもりを栽培する花き農家・上田裕介さんの標高550mのハウスでは、5月上旬から収穫が始まりました。

淡いミントグリーンの色合いが目を引く「みもり」は、平成5年にピンクのスカシユリを栽培していた花き農家のほ場で発見された「ノーブル」の派生品種。れいほく地域だけで栽培されているオリジナル品種です。花粉がなく、無臭で花持ちが良いことから市場関係者からの評価も高く、ブライダルやフラワーアレンジメントとして需要が高まっています。

市場や消費者の期待に応えようと土づくりにこだわり、品質・見た目ともに上々の出来。今年度は3万5千本の出荷を見込んでいます。上田さんは「清涼感のあるすがすがしい色合いはこれからの時期にぴったり。花持ちが良く、長く楽しめるので飾ることで目からも涼しさを感じてほしい」と話しました。

5 南国市地域 土用の丑の日！ うなぎ店頭販売！



丁寧にうなぎを焼く協議会メンバー

JA高知県の直販所がさぐるま市で7月24日、土用の丑の日に併せて毎年恒例のうなぎの店頭販売を行いました。かさぐるま市協議会メンバーやJA職員らが朝早くから火を起し、南側駐車場で炭火焼きを行いました。

うなぎは高知県産で、当日は蒲焼きとうなぎの2種類を販売。協議会メンバーが1枚1枚焼き色を見ながら丁寧に焼きあげました。今年も早朝から予約注文と当日販売合わせて330匹のうなぎを焼き、店内入口にはタレの香ばしい匂いが漂っていました。

2年ぶりの店頭販売は大盛況で、来店客はおいしく焼きあがったうなぎを買い求めていました。

3 南国市地域 祝25周年！ 直販所『風の市』



多くの来場客でにぎわった記念感謝祭

南国市の道の駅南国風良里で7月14日、オープン25周年記念感謝祭を開きました。利用客への日頃の感謝を込めて毎年開催しているもので、餅投げや抽選会などに多くの来場客が訪れました。

25周年を記念して風の市では『風の市祭』を開き、わた菓子の無料配布やオクラのつかみ取りを企画し、感謝祭を盛り上げました。また、南国市園芸女性部によるゴーヤとオクラを使った試食の振る舞いと大葉茶の試飲も行われ、多くの方が足を止めていました。

当日はおいしいグルメやステージイベントなどに多くの方が来場。餅投げには約200人が集まるほどの大盛況でした。

6 れいほく地域 米袋バッグ作りで交流深める



幡多地区の女性部さんと一緒に

JA高知県女性部れいほく地区は7月12日、土佐町相川の牛のうどん屋さんカフェで同JA幡多地区の皆さんと交流し、親睦を深めました。幡多地区の女性部員からの希望で実現した交流会には、れいほく地区8人と幡多地区9人の部員と事務局らが参加。各組織の取り組みや活動報告で情報交換を行いました。

お昼は、れいほく地区を中心に活動する目的別グループ「牛のうどん屋さん」の手作りランチを堪能しました。午後からは、れいほく地区の真辺由香部長を講師に米袋を活用した米袋バッグ作りで交流を深め、地区を超えた有意義な交流となりました。

4 れいほく地域 米ナス食べ始めの会開催！



意見交換を行った「米ナス食べ始めの会」

JA高知県れいほく園芸部米ナス部会は7月20日、シエフと産地がコラボする「れいほく米ナスフェア」に向け、協賛店である高知市のレストラン「M1K1ドゥーブル」で試食会を開きました。部員やJA職員、県内インフルエンサーら31人が参加し、料理の味や販売戦略について意見を交わしました。

フェアは8月1日から1カ月間開催。今年も高知市とれいほく地域管内の30の飲食店とコラボ。20周年を記念したキャンペーンも行われました。各店舗では、米ナスをメインに嶺北産のシントウやミニトマトなどを使った料理が提供されました。

南国市地域より

土長営農経済センター 南国営農指導課
088-863-2415



土長営農経済センター
南国営農指導課
森 圭吾

JA 青壮年部組織活動について

①そもそも青壮年部とはどういう組織?

JA青壮年部とは、農業をよりどころとして、食や農、くらしに関心のあるメンバーが集まり、豊かな地域社会を築くために設立された組織です。全国に約500組織、約5万人の盟友があり、全国組織として「全国農協青年組織協議会（JA全青協）」があります。

高知県農協青壮年連盟（高知県連）は今年で70周年を迎える伝統のある組織で、7月には記念式典も開催されました。



②どういった活動をしているの?

高知県のJA青壮年部では、農業青年が日々地域や高知県の農業を盛り上げるため、食農教育や地域の清掃活動、直販イベントへの参加など様々な活動を行っています。

また、生産現場での盟友の声をJA事業や農政へ反映し、農業者が安心して営農に励める環境整備に努めています。これは個人の農家や、ただの農家の集まりが声を上げて成しえないことで、青年組織だからできることです。



(かざぐるま市父の日イベントの様子)

③南国市本部について

南国市本部は現在26人の盟友が所属しています。主な活動内容としては、高知県連主催の視察研修への参加や、肥料メーカー等を招いた勉強会の開催、「大篠こども食堂」への食材提供や小学生を対象とした田植え・稲刈り体験を通じて地域社会との交流を図っています。

また、昨年度は高知県下初となる「南国市版ポリシーブック^{*}」を作成しました。

しかしながら、南国市本部は、ここ数年で盟友数が半減し、存続の危機にさらされています。そこで、昨年度から支部制度を廃止し、南国市本部に一元化することで、南国市全域から盟友を迎え入れる準備を整えています。今後は、出前授業や地域イベントへの参加、JA・行政との意見交換会など、これまで以上に積極的に活動していきます。ご興味がある方はぜひ事務局までご連絡ください。

^{*}ポリシーブックとは、青壮年部の活動方針・政策提言集。盟友が抱えている営農や地域活動の課題を解決するため、自らやること（自助）・JAと共にやること（共助）・行政に要望すること（公助）を議論し取りまとめたもの。

部長よりひとこと

南国市本部では、部員を募集中です！青壮年部に入ること、県内はもちろん、県外の盟友とも農業に関する悩みや、様々な農業知識を共有し、日々切磋琢磨できます！一緒に南国市の農業、日本の農業を盛り上げていきましょう！

お問い合わせ先 南国営農指導課・青壮年部事務局（TEL：088-863-2415）



れいほく地域より

土長営農経済センター れいほく営農販売課 0887-82-2803

秋肥で収穫量アップを目指しましょう!!

ユズなどかんきつ類は「表年」、「裏年」が出やすい品目であるため、秋肥は重要な施肥作業となります。

目的

- ・着果負担によって低下した樹勢の回復
- ・耐寒性の向上
- ・下垂や寒風害を防ぐ
- ・翌年の発芽と開花の準備 等



Q.どんな肥料をやったらいいの?

A. 即効性の肥料を使用してください。成木の場合は窒素成分で9kg~10kg、65本/10アールだと1本あたり窒素約1.2kgの施用が目安です。

例) 土佐ゆず化成 (12-8-10) であれば10アールあたり約80kg (4袋)
 燐硝安加里S604 (16-10-14) であれば、10aあたり約60kg (3袋)

^{*}隔年結果対策として、着果の多い年は増収分を上乗せ。

例えば30%の増収が予想される場合は、施肥量も30%増やします。

着果が少ないと予想される場合は、春肥と夏肥で施肥量を減らして調整します。

Q.いつ施肥したらいいの?

A. 肥料は施用して樹体に吸収され、効果がでるまでに1カ月程度を要します。10月中には施肥を行い、本格的な冬が到来するまでに樹体に養分を蓄えておきましょう。

Q.施肥を行う場所はどこ?

A. 樹は基本的に根の先端から肥料成分を吸収するため幹に近い所は避け、枝の先端下の地面の表面に施肥を行いましょう。

GAP 掲示板 vol.49 れいほく地域

ほ場内に小動物や鳥類を侵入させないようにしましょう。
 ほ場に侵入し果実の味を覚えると、ほ場へ通うようになります。
 食害等の被害が見られたら、早急に対策をとりましょう。

- ・破れや壊れた箇所は、直ちに修理し侵入を防ぐ。
- ・エサとなる残さは、ほ場周辺に放置しない。
- ・天窓のあるハウスでは、天窓開閉箇所ネットを張り、鳥類の侵入を防ぐ。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

短歌紹介

このあつさ どうのりきるか **こんくらべ**
 (本山出張所・75歳)

ほらあのと なかなかでない **もどかしさ**
 (れいほく支所・67歳)

雑草と けんかしたって **勝てはせぬ**
 (なんごく南支所・77歳)

この暑さ 海水温度 **あがりける**
 (なんごく南支所・80歳)

▼今年で販売開始45周年を迎えるやっこねぎ。産地とブランドを守りながら50年、100年と続いてほしいですね。県外ではなかなかお目にかかれないみたいなので、見かけた際は買ってみてください！

▼連日暑い日が続いていますね。ナスには、食欲不振やだるさなどの夏バテの症状を予防、緩和する効果もあるそうです。揚げナスのねぎみそだれおいしそ〜♡

やっこねぎは、昔からあるネギだと思っていましたが、45周年だったんですね。意外と最近。夏場は冷奴やそうめんなど欠かせない薬味です。とさのさとで見かけたら買ってみます。
 (なんごく北支所・65歳)

暑い夏。大好きな野菜ナスの季節です。早速、揚げナスのねぎみそだれかけを作ってみようと思っています。先日テレビを見てみると「高知のナスにはまっている」と言っていた方がいました。高知県民としてうれしですね。
 (十市出張所・70歳)

棚卸実施による営業時間変更のご案内

9月30日(月)の棚卸実施のため、下記店舗の営業時間が変更となります。ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願い致します。

部署	30日(月)	
	午前	午後
購買課	8:30 ~ 13:00	臨時休業 (棚卸)
南国資材店舗	8:00 ~ 13:00	臨時休業 (棚卸)
南国南部資材店舗	8:30 ~ 13:00	臨時休業 (棚卸)
JAグリーンなんごく	臨時休業 (棚卸)	
南国農機センター	8:30 ~ 17:00 (通常営業)	
日章給油センター	7:30 ~ 19:00 (通常営業)	

部署	30日(月)	
	午前	午後
JAグリーンとさ	臨時休業 (棚卸)	
JAグリーンもとやま	臨時休業 (棚卸)	
JAグリーンおとよ	臨時休業 (棚卸)	
大川購買店舗	臨時休業 (棚卸)	
本川購買店舗	臨時休業 (棚卸)	
れいほく農機センター	8:30 ~ 17:00 (通常営業)	
森給油所	8:00 ~ 18:00 (通常営業)	
さくら給油所	7:00 ~ 19:00 (通常営業)	

お問い合わせ先 土長営農経済センター購買課 (TEL: 088-863-2413)

南国

購買課より 令和7年度用水稲種子・苗の予約注文

水稲種子および水稲苗の予約取りまとめを致します。期日までに最寄りの支所、土長営農経済センター、または営農経済渉外課担当職員まで注文書にてお申し込みください。

申込期限 令和6年10月31日(木)

※天候状況等により入荷数量が予約数量を下回る場合があります。その場合は、数量を調整させていただきますので、ご理解ご協力をお願い致します。
 ※申込期日以降のご注文は、お受けできない場合があります。
 ※混種事故防止のため、配布後の返品はお受けできません。

お問い合わせ先 土長営農経済センター購買課 (TEL: 088-863-2413)

れいほく

れいほく柚子加工場短期アルバイト募集

勤務場所 れいほく柚子加工場 (大豊町黒石200-2)

作業内容 受入作業、選果作業、梱包作業など

期間 10月中旬～11月末頃

勤務時間 8:00～17:00 **募集人数** 若干名
 ※出荷量により変動あり

お問い合わせ先 れいほく柚子加工場 担当: 長野・松繁 (TEL: 0887-73-0080)